

畜産ネットワーク ちば

2023年9月22日

第58号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会
〒260-0021
千葉市中央区新宿1-2-3
K&T千葉ビル3階
発行人 森 英介

千葉の畜産を
『食べよう』『話そう』『知ろう』!

@三井アウトレットパーク木更津

千葉県畜産フェア



今年も三井アウトレットパーク木更津を会場に畜産フェアを開催いたします!

日時: 11月3日(金・祝) 11:00~17:00

場所: 三井アウトレットパーク木更津 ピアストリート

☆農畜産物の販売

卵・卵加工品、豚・牛の焼肉・加工品、牛乳・乳製品、はちみつなど千葉県産品を販売いたします。

☆大抽選会

畜産フェア内のお店でのお買い上げ、またはアンケートの回答などでもらえる抽選券で豪華畜産品等が当たる抽選会を行います。

その他、展示・体験コーナーなどを設置、皆様のご来場をお待ちしております。

※販売や抽選など時間内に終了・売切れの際はご容赦ください。



【主催】

公益社団法人千葉県畜産協会/千葉県畜産物消費拡大推進協議会

【お問合せ先】

公益社団法人千葉県畜産協会/ TEL.043-242-5417

令和5年度定時総会の開催

令和5年6月26日、プラザ菜の花（千葉市）において、森会長出席のもと令和5年度定時総会を開催し、報告事項（令和4年度事業報告、令和5年度事業計画並びに収支予算）及び上程した全4議案について原案どおり承認されました。

令和4年度は、国際情勢の激変により畜産業界が大きく影響を受けた年となりました。世界的にコロナ禍から経済回復する中、飼料の急激な需要増や生産地の干ばつに加え、ロシアのウクライナ侵攻や円安などにより、飼料価格が異常に高騰し畜産経営に大きな打撃となり、まさに、畜産業界にとって苦難の1年でした。

養鶏業界では、11月に高病原性鳥インフルエンザ発生が始まり、年が明けてからは、大規模農家で続発、養鶏農家は大きな影響を受けることとなりました。

酪農においては、コロナ禍による消費低迷と増産による需給緩和により生乳廃棄の危機を何度も迎え、飼料などの生産資材の高騰も重なり、酪農経営はかつてないほど厳しくなっています。

養豚では、全国的に豚熱ワクチンを接種した農場でも、ワクチンブレイクによる豚熱の発生があり、家畜衛生に係る経費の増大とともに農場経営の課題となっています。

肉牛においては、25年ぶりに「全国和牛能力共進会」へ参加し、千葉県の存在感を示す画期的な成果をあげることができましたが、今後さらなるブランド力と生産基盤の強化を図っていく必要があります。

当協会では、こうした厳しい経営環境の中、国等の実施する緊急対策に機動的に対応しながら、肉牛生産者への奨励金の交付や県産食肉の消費拡大への支援、農場での衛生管理向上のための防護柵の整備やHACCP推進を通じた飼養衛生管理基準の普及、牛乳消費拡大に係る啓発活動など様々な対策を実施しました。

特に4年ぶりに対面で開催した「畜産フェア」は、新たな試みとして木更津市のアウトレットパークで3日間の開催とし、多くの県民にPR活動を展開しました。

さらに、「牛マルキン」などの各種制度の事業事務、生産資材高騰に対する施策要請活動、9団体の事務局事務なども適切に執行しました。（総務課 榎屋）

千葉県知事より感謝状をいただきました

令和5年8月17日、千葉県農林水産部畜産課大澤課長が本会に来会、令和4年度に県内で発生した急性悪性家畜伝染病（高病原性鳥インフルエンザ）に係る防疫対応に協力したことへの感謝状をいただきました。



本会では令和5年1月に県北東部で続発した高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う防疫措置に職員を派遣しました。（経営・環境課 小倉）

畜産に学びの場を。

ZENOAQ
Gazing at the future

FARMinar
ファーマナー

お客さま専用オンライン情報配信サービス

POINT1
どこからでも参加できる
オンラインセミナー

POINT2
専門家による飼養管理や
農場運営に役立つコラム

千葉県誕生150周年！記念行事続々開催！

令和5年は、千葉県が明治6年に誕生してから150年の節目の年となり、本年6月から来年6月までの間、「県誕生から150年を振り返り、続いていく未来（100年後）に思いを馳せる」をテーマに、県内各地で様々な催しが実施されています。ここでは、本会及び畜産も関係する催し等についてご紹介いたします。（経営・環境課 小倉）

オープニングイベント【松戸市：森のホール21・21世紀の森と広場】（2023.6.11）



千葉県誕生150周年記念行事のキックオフとして参加・体験型イベント等が実施されました。本会では、21世紀の森と広場にて展開された『千葉の魅力発見・千葉県農林水産物PRコーナー』に出店、県産牛肉（せんば牛）・豚肉（東の匠豚）の焼肉販売の他、畜産品（はちみつ、カレー、味付け玉子、ヨーグルト）が当たる抽選会を実施いたしました。

当日は、早朝から土砂降りの雨が続く酷い天気でしたが、開場後は止み、最終的に多くの方々にご来場いただき、十分なPRをすることが出来ました。

新米キャンペーン【千葉県産新米を取り扱う県内外の小売店・量販店・直売所など】（2023.8.18~11.6）

千葉県誕生150周年を記念して、県産の新米購入者に千葉県産の逸品が当たる「新米キャンペーン」が実施中です。

賞品には、『チバザビーフ』（すき焼き用）や『チバザポーク』（3種食べ比べセット）など畜産品もありますので、是非ご応募ください。



☆キャンペーン詳細や各種情報はこちらからご覧ください。

◀ <https://chibakome.jp/>

【お問合せ】千葉県農林水産部流通販売課 TEL：043-223-3085

GOGO房総デジタルポイントラリー【県内観光スポット等】（2023.9.1~2024.2.29）

スマホを片手に千葉県内の観光スポットを巡りながら、ポイントを取得していくデジタルポイントラリーが実施中です。

取得ポイント数に応じてプレゼント抽選に応募、千葉県の魅力が詰まった素敵な賞品（畜産品では、『元気豚』（加工品セット）や『ダイヤモンドポーク』（しゃぶしゃぶ肉&加工品セット）など）が当たります。



☆ポイントラリー詳細や各種情報はこちらからご覧ください。

◀ <https://gogobousou-pointrally.jp/index.html>

【お問合せ】千葉県商工労働部観光誘致促進課 TEL：043-223-2412

第61回畜産関係試験研究成果発表会のお知らせ

千葉県農林水産技術会議畜産部会主催の試験研究成果発表会が開催されます。

参加は無料で、事前の申し込みも必要ありません。開催日時、場所、課題名等は下記のとおりです。なお、会場開催につきましては、今年度より、全部門、鳥インフルエンザ流行期前に変更しており、12月に開催を計画している酪農・肉牛部門と養豚部門の開始時間及び発表内容については、11月以降に、県ホームページに掲載いたします。（千葉県畜産総合研究センター）

酪農・肉牛部門

日時：令和5年12月1日（金） 時間未定

場所：さんぶの森文化ホール（さんぶの森公園内）〔山武市埴谷1904-5 / TEL：0475-80-9700〕

○電車をご利用の場合 JR総武本線日向駅で下車 徒歩約30分

成果発表終了後、同会場において公益社団法人千葉県畜産協会主催の講演会を開催します。

「人とウシの良好な関係を目指して - 管理者に必要なストックマンシップ - 」と題して、その方面の研究の最前線で活躍されている東北大学の深澤充准教授を迎えて講演をいただきます。

養豚部門

日時：令和5年12月14日（木） 時間未定

場所：さんぶの森文化ホール（さんぶの森公園内）〔山武市埴谷1904-5 / TEL：0475-80-9700〕

○電車をご利用の場合 JR総武本線日向駅で下車 徒歩約30分

成果発表会終了後、同会場において、公益社団法人千葉県畜産協会主催の「千葉県養豚大会」を開催します。

養鶏部門

日時：令和5年10月3日（火） 午後1時から2時15分

場所：成田国際文化会館 1階 小ホール〔成田市土屋303 / TEL：0476-23-1331〕

○電車をご利用の場合

- ・京成成田駅中央口からバス利用「イオンモール成田」行きで「イオン成田店」下車 徒歩10分
- ・京成成田駅東口からバス利用 「文化会館」下車

◆採卵鶏におけるアニマルウェルフェアに配慮したケージシステム利用の検証

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 小形 次人）

赤玉卵鶏を造作アニマルウェルフェア対応ケージで448日齢まで飼育し、産卵成績、卵質成績、鶏の行動、ストレスホルモンなどを調査したので紹介する。

◆採卵鶏主要銘柄長期飼育比較調査

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 能瀬 祥吾）

8銘柄の採卵鶏について、700日齢までの長期飼育のうち、420日齢までの成績を取りまとめた結果、ほとんどの銘柄鶏において育成期の発育が優れ、成鶏期において高い産卵持続性を示した。



◆県内採卵鶏鶏舎における吸気口構造調査

（畜産総合研究センター 企画環境研究室 齊藤 健一）

ウィンドウレス及びセミウィンドウレス鶏舎内の温度や換気量を制御する吸気口部分の構造について、県内8農場の現地調査を実施したのでその概要を報告する。

引き続き同会場において、鶏病研究会千葉県支部主催の「技術研修会」を開催します。

●動画配信について

令和6年2月中旬から1ヵ月間YouTube「千葉県公式セミナーチャンネル」にて発表内容を動画配信いたします。

どなたでも視聴が可能ですので是非ご覧ください。また、資料をご希望の方は畜産総合研究センターまでお問い合わせさせていただきますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先

千葉県畜産総合研究センター [TEL:043-445-4511 FAX:043-445-5447]

千葉県農林水産部畜産課 [TEL:043-223-2939 FAX:043-222-3098]

※発表予定時刻及び動画配信の情報等については畜産総合研究センターホームページ (<http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-chikusan/>) をご覧ください。

酪農家・肉用牛農家の皆様へ

牛トレーサビリティ制度 あなたの牛は大丈夫？

牛トレーサビリティ法の施行（H15.12.1）以降、牛個体識別台帳システムに記録・蓄積された牛について、令和5年7月1日時点で、所在不明牛処理の条件に合致する牛の個体識別番号一覧がWEBページ上に掲示されています。 **掲示期間：令和5年8月3日（木）～10月31日（火）**

☆所在不明牛処理の対象牛の条件

①乳用種：10歳以上の雌牛、3歳以上の雄牛

②肉専用種：15歳以上の雌牛、3歳以上の雄牛

③交雑種：3歳以上の雌牛、3歳以上の雄牛

対象牛はこちらに掲載→

(独)家畜改良センターHP



上記のうち、最終履歴が初期装着、出生、転入、転出、取引となっており、その後3年以上、異動の届出（耳標の再発行、雌牛にあっては母牛としての届出も含む。）がない牛。

☆所在不明牛処理の対象となった個体識別番号は、令和5年11月1日（水）以降、検索サービスで検索できなくなります！

現畜が存在する場合は、地方農政局等で存在確認の上、検索除外が解除となりますので、最寄りの地方農政局等まで申し出ください。

所在不明牛処理の対象となった個体識別番号は、1年後を目安に農林水産省において履歴の完結処理（便宜上、死亡扱い）が行われます。

☆牛の出生や異動の届出は、速やか、かつ正確に行いましょう！！



牛の管理者には、牛トレーサ法に基づく耳標の装着及び各種届出が義務づけられています。

届出をせず、又は虚偽の届出をした場合には、牛トレーサ法に基づく罰則の対象となります。

さらに、各種補助金の対象から除外されたり、返還を求められる場合もあります。

牛トレーサビリティ制度に関するお問い合わせは…
・関東農政局 消費・安全部 畜水産安全管理課 TEL:048-740-5066
・関東農政局 千葉県拠点 TEL:043-380-0778

肉用子牛生産者補給金制度（第7業務対象年間）

本制度は肉用子牛の価格が低落した場合に、生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図ることを目的としております。加入を希望する方は事務局までお問い合わせください。

また、契約者死亡、経営中止、経営移譲、個人から法人への移行等、現在の契約に変更が生じた場合は、速やかに事務委託先を通じて報告をお願いいたします。（経営・環境課 小倉）

◆ 肉用子牛の保証基準価格・合理化目標価格及び発動状況

（単位：円/頭）

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	556,000	507,000	325,000	164,000	274,000
合理化目標価格	439,000	400,000	256,000	110,000	216,000
5年度第1四半期	平均売買価格	586,800	534,000	170,200	304,200
	補給金単価	—	—	—	—

◆ 生産者積立金単価及び負担割合

（単位：円/頭）

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
生産者積立金	1,600	6,000	18,800	6,800	3,200
国（機構）(1/2)	800	3,000	9,400	3,400	1,600
県（1/4）	400	1,500	4,700	1,700	800
生産者（1/4）	400	1,500	4,700	1,700	800

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）

本制度はTPP11の発行により法制化され実施されています。肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、差額分の9割が交付されます。肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）に加入して経営の安定を図りましょう。（企画課 飯沼）

◆ 交付金の交付状況

（単位：円/頭）

区分		標準的販売価格 (A)	標準的生産費 (B)	差額 (C) = (A) - (B)	交付金単価 (D) = (C) × 0.9
令和5年 4月	肉専用種	1,232,973	1,225,165	7,808	—
	交雑種	722,305	717,914	4,391	—
	乳用種	481,492	531,545	△50,053	45,047.7
令和5年 5月	肉専用種	1,177,898	1,229,925	△52,027	46,824.3
	交雑種	717,987	733,469	△15,482	13,933.8
	乳用種	486,055	536,165	△50,110	45,099.0
令和5年 6月	肉専用種	1,172,013	1,234,773	△62,760	56,484.0
	交雑種	698,303	748,553	△50,250	45,225.0
	乳用種	489,038	524,886	△35,848	32,263.2

注：交付金は1円単位で交付となります。

わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 **森久保薬品株式会社**
http://www.morikubo.co.jp





◆ 令和5年度通常総会開催【成田市：ホテルマイステイズプレミア成田】（R5.7.3）



チバザビーフ協議会 宮澤会長 挨拶

千葉県議会議員の先生方をはじめ、県、関係団体・企業、生産者等約60名の出席をいただき開催、通常総会では、令和4年度事業報告等全3議案を上程、いずれも原案どおり可決承認されました。

総会終了後は、4年ぶりとなる懇親会を開催、こちらにも約50名に参加いただき交流を深めていただきました。

◆ 活動状況報告

☆ALL FOR CHIBA 2023【千葉市：ZOZOマリンスタジアム】（2023.6.23）

「地域コミュニティと共に成長し、地域経済にも貢献する。」というビジョンのもと、千葉ロッテマリーンズがいつも以上にホームタウン千葉のために戦う日として、『ALL FOR CHIBA』のゲームが開催されました。



チバザビーフでは、球場外周に設けられた地域PRブースに「せんば牛グループ」が出展、ビーフジャーキーのふるまい（無料配布：1,000名分）を実施しました。

☆第3回千葉女子オープンゴルフトーナメント【市原市：森永高滝カントリークラブ】（2023.9.5～6）

本大会は、千葉を拠点に活動する多くの女子プロゴルファーに活躍の場を広げ、大会を通じゴルフの魅力発信とゴルフ人口の拡大やゴルファーの成長を目指すという理念のもと、コロナ禍にあった2021年に初開催、今回、第3回にして初めて有観客で開催されました。

チバザビーフでは、5日に実施されたプロアマ戦へ特別賞として3組（12名）に計30万円相当の県産牛肉（かずさ和牛）を提供、加えて6日に実施された本戦では県産牛肉・豚肉を使用した料理を提供するキッチンカーの「小六茶屋」の outletと共にPRブースを設置し、県産牛肉及び畜産の普及・PRを行いました。



☆千葉県共創アイドルグループC☆BA（シーバ）とコラボ商品を作成



千葉県誕生150周年を機に誕生した『千葉県共創アイドルグループC☆BA（シーバ）』とチバザビーフのコラボ商品を作成いたしました。せんば牛グループに協力をいただきカレーを提供、限定オリジナルパッケージにて販売しています。



イベント情報等の詳細はこちらから！ ▶ <http://chibathebeef.jp/>



NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

1. 令和5年度通常総会及び第1回畜産研修会の開催

令和5年度通常総会は6月14日（水）千葉市生涯学習センター小ホールに於いて開催されました。出席者は会員総数77名のうち、68名出席（内、委任状34名）来賓13名のもと開催されました。

新城恒二副理事長の進行により、松田延儀理事長、千葉県農林水産部畜産課 企画経営室 主幹 渡辺聡 様、公益社団法人千葉県畜産協会 専務理事 岡田望 様、公益社団法人中央畜産会 鈴木邦夫 様からのご祝辞をいただいた後、松田理事長が議長に選出され、議長から4議案が提出され、すべて原案のとおり可決されました。

新役員が選出され、直ちに新役員による臨時役員会が開催されました。新城恒二氏が新理事長に選出され、宮島成郎氏、計良伸行氏、富田耕太郎氏が副理事長に選出されました。

松田前理事長には長年にわたる運営ありがとうございました。引き続き監事としてご支援をお願いいたします。また、唐仁原景昭理事には長い間理事長・副理事長として大変お世話になりました。健康に留意され今後ともどうぞNPOへのご協力のほどお願い申し上げます。

新役員一覧（令和5年～6年度）

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	新城 恒二	事務局長	薫田 耕平	理事	鶴岡 則夫
副理事長	宮島 成郎	理事	内田 賢一	理事	山下 厚
副理事長	計良 伸行	理事	染井 英夫	監事	松田 延儀
副理事長	富田耕太郎	理事	井上 貢	監事	山田真希夫

総会終了後の畜産研修会では、千葉県農林水産部畜産課 企画経営室 主幹 渡辺聡様による「令和5年度主要施策について」現在の畜産経営の問題点とその対策について説明をいただきました。

次に元農林水産省生産局畜産部長、元内閣府食品安全委員会事務局長 梅津準士様より「BSEから20年～リスクとコミュニケーション～」について、当時の日本の対応策や海外とのやり取り等の詳細な解説をいただき、改めて危機管理の重要性を再認識し、大変有意義な研修会となりました（出席者45名）。その後の講師を囲んでの「情報交換会」には28名の出席をいただきました。

2. 事業実施の方針

当NPO発足後16年目となる本年度は、昨年に引き続き異常気象やウクライナ情勢、物価高騰が続き畜産経営を圧迫して畜産農場への長期的な影響が懸念される状況にあります。

一方、アジアで猛威を振るっている口蹄疫やASFは韓国、タイ、インドネシア、中国等のアジア周辺諸国において、引き続き発生しており、国内への侵入リスクは依然として高い状況です。

このようなことから、畜産農場はより一層飼養衛生管理の強化が求められているところです。

このため、公益社団法人千葉県畜産協会の指導の下、状況を鑑みながら農場HACCP推進指導事業やBSE検査の協力、家畜飼養、衛生環境等の指導力向上に努めるとともに畜産経営の向上、消費者への畜産理解と消費の拡大を推進します。

3. 主な事業活動

(1) 農場HACCP構築支援指導（公益社団法人中央畜産会）

本事業は今年度が（3年間）2年目となります。現在農場HACCP認証構築指導に取り組んでいる農場の認証に向けてより一層の推進を図っていく予定です。また、県内の認証農場（55農場）も多くなっていることから認証農場への内部監査や従業員の教育・訓練等の更なる飼養衛生管理強化向上の支援に努めます（今年度からは農業大学校や4つの農業高校でも支援しています）。



(2) 死亡牛等の受入及び保管等補助業務受託 (公募千葉県：事業費3,674千円)

昨年同様に中央家畜保健衛生所(佐倉)との委託契約に基づき‘死亡牛等の受入及び保管等の業務を補助する業務’を推進します。(会員4名、1年間：167日実施)

(3) 畜産研修会 (千葉市内等2回開催予定)

第1回(総会后)は実施し終了、第2回は来年1月～2月を予定しています。

(4) 外国人技能実習生を対象とした研修会の開催 (出前研修)

改正された飼養衛生管理基準に対応した外国時技能実習生を対象としたパンフレット(家畜保健衛生所等の協力のもと)を希望する農場へ配布するとともに、養豚場だけでなく広く牛、鶏農場へも都合の良い時間に通訳を伴い伺う計画を実施します。

4. 畜産フェアに出展します！

11月3日(金)にアウトレットパーク木更津で開催される“千葉県畜産フェア”では昨年同様、当NPOは農場HACCPパネル展示、消費者アンケート調査、県内農場HACCP認証農場の協力による畜産物販売及び「畜産なんでも相談コーナー」を予定しています。

参加希望者は事務局までご連絡ください。



5. 農場HACCP構築希望農家を募集しています！

当NPOでは農場HACCP認証構築を希望する農家のご参加を募集しています。

NPOは農場HACCP指導員を派遣して認証構築に向け各農場に即した体制や文書・記録づくりを支援します。(農場負担：無料)

6. 会員募集中！

当NPOでは、千葉県内で畜産業を営む農家に対し、経営、飼養管理、家畜衛生等の技術を持つ人材の情報を提供し、経営を支援する事業を行うとともに、一般消費者への県内産畜産物消費拡大や児童生徒への動物ふれあい情操教育活動の場を作り、県内畜産振興並びに県民への畜産に対する理解を深めることを目的として活動を行っています。

現会員数：80名(内訳 正会員個人65・団体12、賛助会員3団体)

NPOはこれからもいろいろな事業に取り組んでいきたいと思ひます。

皆様方の御意見・御支援・御協力をお願いします。

お問い合わせ：NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局(千葉県畜産協会内)

TEL：043-241-1738 FAX：043-238-1255

(公社)中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！
配信中の内容：国産原料100%の飼料で黒毛和牛を肥育する農家に密着！シリーズ 令和の畜産危機にさせないために
／放牧で飼料代・燃料代を抑えた酪農経営／他

がんばる!畜産!6



◀スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



(公社)中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846



1. NPC通常総会開催 役員改選により新たな活動スタート！ 2023/6/7



オークラ千葉ホテルにおいて開催された、令和5年度通常総会で冒頭、青柳会長から「養豚を取り巻く情勢は、飼料・資材・光熱費など予想を超える価格の高騰により、経営は非常に苦しい状況に置かれています。豚熱対策は終息にはほど遠く、加えてアフリカ豚熱侵入脅威から飼養衛生管理基準がより厳しく改正され、生産者のバイオセキュリティ強化が一層重要となってまいりました。

加えて、PED・PRRS・豚熱といった疾病問題、アニマルウェルフェア、臭気や硝酸態窒素の排出基準を含めた環境対策など、間違いなく対応を迫られる状況でもあります。さて、我々生産者は、この難局を乗り越え、消費者から求められる品質の高い豚肉を、安定的に生産し提供できるかを、常に考えていかなければなりません。今すべきその対策の一つが経営基盤の強化であり、的確な情報収集による飼料要求率の改善、優秀な種豚の確保、衛生対策から事故率軽減など、自ら経営内容を見直す努力と工夫により、課題を乗り越え、生産コスト削減と経営安定に取り組んでまいります。」と挨拶。予定された全議案が承認され、任期満了に伴う役員改選（任期2年）により次の三役が承認されました。

会長	青柳 耕一	香取市（留任）	副会長	北田 好克	山武市（留任）
会長代理	菅谷 知男	旭市（留任）	〃	熱田 力	匝瑳市（新任）
副会長	北見 則弘	市原市（留任）	〃	柴田 行雄	旭市（新任）
〃	林 浩之	香取市（留任）	〃	宝理 雅人	東庄町（新任）

2. JPPA通常総会開催 「日本養豚激動の25年」記念誌披露！ 2023/6/21



中央養豚生産者組織である（一社）日本養豚協会（JPPA）通常総会は、生産者・関係者約260名が参加され、東京港区所在の東京プリンスホテルにおいて開催されました。

香川会長は養豚をめぐる情勢について「過去10年の間に全国の母豚数が約10万頭減少、戸数は年平均約6%という高いペースで減少してきており、5年以内に廃業を考えている生産者も増えている状況を踏まえ2023年度の基本方針として、①会費算定方式の「肥育豚出荷頭数」への統一と会運営の安定化、②養豚経営安定対策の強化、③豚熱及びASFの侵入防止、④会員拡大努力と活動の活発化の4つを示されました。

来賓として出席された自民党養豚農業振興議連の先生方、農水省担当官の挨拶、議案説明、部会活動報告等提出された全議案が承認されました。



総会後の懇親会で、今回「日本養豚激動の25年」が完成したことから、（一社）日本養豚協会 志澤名誉顧問より、①JPPA創立を挟む四半世紀の養豚生産者組織の活動を生産者、行政、団体関係者、国会議員など30人以上から寄稿された文章を基にまとめたこと、②海外輸入豚肉との競合・豚コレラ清浄化や口蹄疫など重要疾病との戦い等、この25年の間に日本の養豚業界は

何度も岐路に立たされ、そのたびに生産者の団結をもって乗り越えてきたこと、③世代が代わり、その時々活動を風化させぬよう後世に伝えることが大切であること等、準備から一年をかけた記念誌作成の想いが語られました。また、来賓として養豚議連の先生方47名が出席され、約300名の参加者の中で交流を深めました。



3. 自民党県議会議員会畜産振興議連との情報の共有 2023/6/28

生産者の疾病問題に対する取り組み状況を自民党県議会畜産振興議連の先生方に知っていただく必要性から、ナイスポーク協議会が窓口となってお願いし、6月県議会の忙しい時期にも拘らず、意見交換の場を作っていただきました。4月の統一地方選挙の結果を踏まえ、自民党畜産議連への参加メンバーは34名となりました。



顧問	河上 茂	松戸市	幹事	石橋 清孝	東金市
会長	實川 隆	山武市・山武郡	〃	川名 康介	鴨川市・安房郡南房総市
副会長	阿井 伸也	大網白里市	〃	高橋 祐子	富里市
〃	山本 義一	八街市	〃	高橋 秀典	旭市
幹事長	信田 光保	銚子市・東庄町	〃		

情報提供のテーマは「千葉県の養豚産業と悪性伝染病への備えについて」と題し、①豚の病気、②豚熱（CSF）の発生の脅威に対する対策、③養豚農家のCSFに対する不安、④もしCSFが発生したら…養豚農での対策、⑤埋却だけでなく焼却の選択…可能に、⑥焼却処分のハードルは高い、⑦豚熱以外の悪性伝染病の発生…アフリカ豚熱（ASF）等、千葉県の養豚の現状と問題点を説明。これを踏まえて意見交換をいたしました。

4. 令和5年度第2回役員会開催 2023/7/13

令和5年度通常総会において新役員が決まり、最初の役員会が理事・監事・顧問・アドバイザー総勢18名が出席し、JA富里市農協会館2階役員会議室において開催されました。会議は、総会で承認された事業計画をどのように推進していくか等方策について協議しました。



特に、①会員加入促進と全国チェックオフ組織再立上げ、②政策要請と情報の共有ではCSF対策としてマーカーワクチンの開発、野生イノシシの駆除対策、水際対策の強化、③県産（国産）豚肉消費拡大のためのイベント参加・ラジオCM放送の実施、④衛生・経営（ベンチマーク）・環境（臭気）の部会設置による対応推進等活発な意見がだされ本年の活動方針の詳細が決定されました。

本年度選出された役員22名（理事・監事）の平均年齢が46.5歳と若返り、また初めて女性理事の誕生と、今後、新しい風が吹き込まれることが大いに期待されます。

5. 成田空港防疫キャンペーン実施 2023年夏休みに伴う注意喚起！ 2023/8/4



農林水産省動物検疫所からの要請によるキャンペーンは、海外から家畜の悪性伝染病の日本への侵入を防止・警戒するために旅客に対して動物検疫制度の周知を行うもの。

この夏休みの期間中は、海外との旅客の往来が活発となり、口蹄疫、アフリカ豚熱等の発生国からの帰国者も増大することが想定される。

ナイスポークから9名、JPPAと県畜産課から各1名計11名が参加。成田空港第1ターミナル4階の旅客出国ロビーにおいて、「日本への肉製品持込み禁止」と農水省が用意したテッシュに入った注意を促すチラシとJPPAから依頼された「アフリカ豚熱を絶対入れない」の2つのチラシを配り注意喚起を求めるキャンペーンを行いました。

ナイスポークチバ推進協議会 事務局

公益社団法人千葉県畜産協会 事業部（担当：加藤）
TEL:043-241-3851 FAX:043-238-1255

チバザポーク便り

チバザポーク販売推進協議会



☆養豚が盛んな東庄町で、特産品の豚肉をPRする「東庄ポーク&ビア夏祭り」が4年ぶりに開催されました！

新型コロナの影響で2019年を最後に中止が続いていました。復活を受けた今年のキャッチコピーは「～絆～あの夏をもう一度」、お盆の時期に合わせて行う恒例イベント再開へ熱い思いが込められています。

多くの来場者でにぎわい、冷えたビールを片手に、ソーセージや串焼き等を楽しむ姿が見られました。

- 日時: 令和5年8月11日(金)～13日(日)
- 会場: 東庄町役場駐車場
- 主催: 東庄まちおこし隊/東庄町観光協会



イベント情報等詳細はこちらから！ ▶ <https://chibathepork.jp/>



令和5年度 千葉県肉豚共進会

出品: 200頭
 会場: 旭市鎌数 (株)千葉県食肉公社
 日時: 10月3日(火) 開会・搬入
 4日(水) 審査
 5日(木) 11:00～ 展示講評
 13:30～ 褒章授与式

- 主催: 公益社団法人千葉県畜産協会
- 後援: 千葉県/全国農業協同組合連合会千葉県本部
千葉県農業共済組合
(一社)千葉県農業協会

ジャッジングコンテスト

10月5日 10:30～



上位8点の中から優良な枝肉1点を見事当てていただいた方に、景品を贈呈します。

豚枝肉脂肪酸測定

10月5日 11:00～



肉のおいしさのもとと言われるオレイン酸、脂肪酸の測定を行います。

上位入賞豚の買い増し

名誉賞 1,000円/kg増し
 優等1～2席 100円/kg増し 優等3～5席 50円/kg増し
 優等6～10席 30円/kg増し 極上 100円/kg増し

「食の安全・安心」のための第1歩は、「法令遵守」であることを改めて認識してください。

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立てられています。



部署		TEL	FAX
総務・企画部	総務課	043-242-5417(代)	043-238-1255
	企画課	043-242-6333	
事業部	経営・環境課	043-241-1738	
	衛生指導課	043-241-1738	
	生産課	043-241-3851	

Eメール: info@chiba.lin.gr.jp

URL: <http://chiba.lin.gr.jp>